

令和七年宮城県支部「新春賀詞交換会句会」成績

日時 令和七年一月二十五日(土)

会場 T K P ガーデンシテイ PUREMENTUM

仙台西口カンファレンスルーム7 K

森岡正作選

特選

読み直す昭和の歴史煤籠

借景の山に日の差す一茶の忌

象亀の甲羅みがかれ十二月

篠沢亜月

小林里子

堀之内久子

秀逸

臘梅や朱唇仏守る薬師堂

木枯や窓口小さきくじ売場

生かされて卒寿に一つ年新た

毛糸編む二年越しなる夫のもの

日溜りの小鳥のやうな毛糸玉

江戸裕子

寒河江桑弓

佐藤拓郎

小林雅子

田村恵子

佳作

百年の牡丹に百の冬芽かな

青年の遺作自画像冬の霧

大根干す二人の力振り絞る

包帯の手の中にある雪ばんば

貼る懐炉配りて読経始まりぬ

もみ殻にぬくき卵や雪の朝

しぐるるや螺鈿の青む具足櫃

絵硝子の青の際立つ聖夜かな

真ん中に祖母ある暮らし黄水仙

折り紙にたたむ二日の日差しかな

佐野享保

石川喜美子

鈴木恵子

高木秀子

柏原眠雨

久保田菊香

坂内佳禰

木村螢雪子

伊藤一男

小松温美

高点句三句

6点 真ん中に祖母ある暮らし黄水仙

5点 魚市場の女立ち飲む寒卵

5点 折り紙にたたむ二日の日差しかな

伊藤一男

岡本幸治

小松温美